

吉良氏800年祭 書家 渡部さん×一色高校和太鼓部 記念イベント

中世に吉良荘(きらのしょう/現在の西尾市域)を治めた吉良氏発祥のきっかけとなった「承久の乱」(1221年)から数えて節目の800年を記念したイベントが11日、西尾市文化会館大ホールで行われた。第一部は書家の渡部裕子さん(名古屋市)と一色高校和太鼓部「いっしき」がコラボで立体書道パフォーマンスを披露。第二部は西尾市シティプロモーション特命大使「にしお歴史案内人」に任命された静岡大学名誉教授、小和田哲男さんの講演会「戦国史上の吉良氏と今川氏」があった。

市民らで2年前に発足した吉良氏800年祭実行委員会と西尾市が主催。実行委員会は「復古創新～800年の心響(こどう)」をテーマに掲げ、これまで800年祭の機運を盛り上げる地域交流イベントや、多彩な講師陣による講演会などを企画。今回はメモリアルイベントとして開催し、参加申し込みをした市民ら約800人が訪れた。

あいさつに立った斎藤吾朗実行委員長は多くの来場者に感謝しながら、800年祭を契機として「西尾が歴史の宝庫であることを多くの人たちに知ってもらいたい」と述べた。幕間の来賓あいさつで中村健市長は「自分たちが生まれ、育ったまちのルーツを見つめ直す機会に」、長谷川敏広議長は「(今後予定イベントを通して)800年を祝っていききたい」と話した。

第一部の立体書道パフォーマンスでは一色高校の和太鼓部員の力強い和太鼓の音色にあわせ、渡部さんが大筆を走らせ、迫力のある6文字を揮毫＝写真。800年祭のテーマ「復古創新」とともに仕上げた「郷」「音」の二文字を縦に重ねた立体作品について「あわせて『響』。言葉という音を通して、ふるさとのみんなでいっぱい話して響く人生を願った」と説明した。和太鼓部員はコロナ禍で演奏活動を取り止めた状況を振り返りながら「みなさんの前で演奏できてよかった」とステージに立てた喜びを語った。

迫力の音色で揮毫「復古創新」「響」



18日、市一色地域文協定例総会 杉浦さんへ表彰状 原田、小山さんに感謝状

第17回西尾市一色地域文化協定会定例総会は、18日午前10時から二色町公民館3階コンベンションホールで開催される。(当日総会へ出席)



記者席

観天望氣

〇昔の人たちの生活における知恵の一つとして伝承される天気のことわざがいくつもあります。総称して「観天望氣(かんてんぼうき)」。自然現象や生物個々の行動から推測する天気予報。先日も「丁印(ちやういん)近く(ちやうき)を車で走っていると、開(ひら)いてきたのは今年初めてのアマガエルの声。花巻(はなまき)寺(てら)ではツバメの低空飛行も、間も

〇とは言っても、理由が科学的に解明されているのは極わずか。降雨の噴湿度の湿度からエサの昆虫が低く飛ぶためのツバメの低空飛行や、顔とひげに水滴がつきやすくなるためのネコの顔洗(顔を洗)ぐらいといわれています。鳴き出すカエルや塀(へい)に上がるカニ、地上へはい出すミミズなど、なぜ予知できるのかは分かっていません。とりあえず自然界には、多くの気象予報士が存在していることだけは事実です。

席するのは役員、理事、運営委員のみ
今回、総会で審議される議案は、令和2年度事業報告、令和2年度決算報告及び監査報告、令和3年度事業計画(案)、令和3年度収支予算(案)の全4議案となっている。
また、当日は議案審議のあと、「表彰状ならびに感謝状贈呈」があり、次のみなさんに表彰状、または感謝状が贈られる。
▽杉浦るり子(芸術部門・奨励会、理事15年)
▽原田佳弥(美術部門・洋画部、理事10年)
▽小山桂子(文芸社会部門・絵手紙、理事10年)

市内コロナ陽性10人

- 愛知県が10日発表された県内の新型コロナウイルス感染症状況によると、西尾市で10人(市内425)の陽性を確認した。
- 30代男性II 陽性
 - 30代女性II 陽性
 - 60代女性II 陽性
 - 10代女性II 陽性

ちょっとよっていきま
ひさごうどんへ
ポリリウム満点 みそカツ定食

お持ち帰り
できます

●定食各種
うどん そば 丼物
●酒・ビールに注文の方のみ
えだ豆サービス(です)

西尾市笠原下野31-2
ギヤーエス工業前

TEL 52-2995

小児・矯正・一般

本田 歯科

院長 本田 正則

西尾市丁田町空左8番地(西尾市役所南側2つ目)

TEL (0563) 54-5111

診療時間 AM9:30~12:30 休診日 祝、木、日曜日
PM3:00~6:30
土曜日 AM9:30~12:30
PM3:00~5:30